地域包括ケアの地区展開 令和7年度 用賀 地区アセスメント

	人口	·		•																
(k m²)	(人)	人口 密度 (人/k			口(人)	年少人 口率 (%)	(世帯)		高齢者が	いる世帯	数		高齢者が	いる	介護保険	į	障害者手 者	帳保持	障害サー 給者	・ビス受
		m²)				(%)				身者世	のみ世 帯数	高齢者 がいる	世帯率 (%)	内高齢 単身・ 高のみ 世帯率	認定者数(人)					障害児 通所給 付
2.472	37,300	15,089	7,593	20.36%	4,352	11.67%	19,647	1.90	5,609	2,641	1,454	1,514	28.55%	20.84%	1,407	18.53%	726	170	205	138
町丁目ごと	に見ると、	、上用賀2	丁目は特にア	高齢化率がる	高く、用賀:	1丁目が低く	なっている		でいる。											
		サロン等	サロン		ミニデイ		新たな 居場所 登録団	民間施 設の活 動場所	地区サ ポー ター登 録数	援体制 整備事 議体開	発・生 活支援 サービ		で地スグ通数では、「「城「「「城」「「「「」」で、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	会議 A・ ・ は は 2020 で で で り こ の こ の に も 一 認 に の に も 一 認 に の に も 一 認 に の の の 、 で の で が あ み 子 デ た に も 一 認 に の 、 の の の の の の の の の の の の の	C (社(と) とります。C (社(と) とります。(童・民場社トー) フ域きまれる(重・民場社トー) フ域きまれる(重・民場社トー) フ域きます。(主) とります。(注) とります。(注) とります。(注) とります。(注) というます。(注) というますます。(注) というます。(注) というますます。(注) というますます。(注) というますます。(注) というますます。(注) というますます。(注) というますますます。(注) というますますますます。(注) というますますますますますますますますますますますますますますますますますますます	す世世ポンり局検保営(上人) ・谷ロター ま会園アコ田ポンり局検保営(上人) ・おり、一・ま会園アコ田賀一 ・カリー・・ち」・一書41ム	域・社 センド ナー T も あん ・ 社 センド と ・ せ ・ から	受コーアとたす ででしています。 ことでは、一般では、一般では、 主任任・子護・大学、 を持ちば、一般では、 主任性・子のでは、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 を持ちば、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして、 をして	ーター・社 がわ) こ) 量・児童館・子 サロンんす・あいす 事業所あんす	端) 世田谷区地 ども食堂) し んすこ) -こ)
4	6,605	21	16	4	1		7	17	70	13	3									
定期巡 回・随時	夜間対 応型訪	認知症 対応型	多機能 型居宅	規模多 機能型	高齢者 グルー プホー	着型特 別養護 老人	トステ	護老人	人保健	軽費老人ホーム	ス付き 高齢者 向け 名 来 そ 人	特定施 設入居 者生活	さわやかり 知的/グル 世田谷区3 就労支援が 練) Do-will (用賀福祉作	は一とあーで 一プホーム 立障害者休養 施設ゆに(U (身体/就労利 乍業所(知的	計世田谷(ダ) &ホームひ NI)(発達 移行支援、 が障害者/就	田的・精神 まわり荘(4 が成労移行) 就労定着支持 労継続支援	・身体/就労 身体・知的 支援、就労績 援) B型)	・精神・児:	童)	
1	0	0	0	1	2	0	1	1	0	0	13		スタジオ? ウイング! まんまる 重症心身! パパゲー/	そら用賀(リ 用賀(児童/ (医療型特別 章害サポー〕 ノWork & Re	見童/児童発 放課後等デ 定短期入所) ト『ぽれぽね covery用質	達支援、放 イサービス れ』(日中: !(就労継続	t課後等デイ.) ショート) 支援B型))	
										I.	I									
							ゆに (UNI)	相談支援	事業所(指)	定特定相談	支援事業所)、障害者	就労支援も	アンターゆに	C (UNI) (発達障害者	/就労相談・	就労定着	支援)	
①総ク ② 2 2 2 2 4 5 7 8 7 8 8 9 8 9 8 9 8 9 9 8 9 8 9 8 9 8	: ウヤリカック ・ 大学 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	央病院 診療など:† 医院、よう; (みちない) (みちなは) (別のでは、 ()のでは、()のでは、()	が脳神経外想はるかぜいまないがいない。 があれるはいないない。 ないないないないないないないないないないないないないないないないな	科、二本松I 呼吸器内科 あのねコ 歯科室、ある 歯科、用賀 ココカラフ	内科・循環 クリニック ドモくりに わや歯科医 ライオンズ ァイン薬局	器・歯科ク 、のと、用いる 、のに、 、のに、 、のに、 、のに、 、のに、 、のに、 、のに、 、のに	リニック、 科、 「 大 属科、 リ は は は は は は は は は は は は は	あきら内科 苑クリニッ 賀きくち ウク ・イン薬 ファイン薬	、用賀レデ ク、オーバ 科 肝臓・I る葉歯科、 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	ディスクリニ ペスワンクリ 内視鏡クリ ふくだ歯和 よ病院前、ニ	ニック、用賀 リニック、佐 ニック、用 キクリニック	間クリニック 定藤診療所、 賀内科・消 、飯田歯科	ク、さとう 小板橋内 化器内視鎖 外医院、小	耳鼻咽喉科、 科、用賀メ 急クリニック 野デンタル:	、荏原医院 ンタルクリ 7、世田谷血 オフィス、	、イリス訪 ニック、メ L管クリニッ まい歯科医	問診療クリ ンタルウェ ック 院、高橋歯	ニック、ニ ルビーイン 科醫院、O	コタマ大腸 /グCL用賀、 OS. OM愛	・肛門ク 用賀整形 F藤歯科医
	傾世町出 町自数 地定回対訪護 障 そ玉医①②キリ外③院④向田丁張 会治 域期・応問看 相 だ地機合り整ツに科富局区ご談 ・会 密 巡陣型介護 相 だ地機病ニ形ク、:塚:全と会 4 着 第 時 1 談 や札関院ッ外、用中歯:全と会	(傾世町出 町自数 地定回対訪護 で そ玉医①②キリ外③院④ で そ 宝医①②キリ外③院④ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	2.472 37,300 15,089 (四田丁田	2.472 37,300 15,089 7,593 傾向	2.472 37,300 15,089 7,593 20.36% 傾向 世田谷区全体と比較すると、用賀地区は年少人口率が可丁目ごとに見ると、上用賀2丁目は特に高齢化率が出張相談会などを通して地区課題の把握に努めるとと、	2.472 37,300 15,089 7,593 20.36% 4,352 (項向 世田谷区全体と比較すると、月賀地区は年少人口率が高く、、高新賀田田谷区とに見ると、上用賀2丁目は特に高齢化率が高らく、、見守田操相談会などを通して地区課題の把握に努めるとともに、見守田会治会 サロン 等登録団体数 サロン 子可て マーデー マーデー サロン 子可で マーデー マーデー サロン 子可からでは、現前のは、「一では、「一では、「一では、「一では、「一では、「一では、「一では、「一で	2.472 37,300 15,089 7,593 20.36% 4,352 11.67% 傾向 世田谷区全体と比較すると 用賀地区は年少人口率が高く、高齢化率は低い可出張相談会などを通して地区課題の把握に努めるとともに、見守りネットワ 町会・会員世 自治会 中ロン 等登録団体数 中ロン 子育て 三デ 中ロン 子育て 三デ 中ロン 子育て 三デ 中ロン 子育て 三デ 中田 大阪型 中田 大阪型 中田 中田 中田 中田 中国 中国 中国 中国	2.472 37,300 15,089 7,593 20.36% 4,352 11.67% 19,647 19	(取向) (取向) (取向) (取向) (取向) (取向) (取向) (取向)	2.472 37,300 15,089 7,593 20,36% 4,352 11.67% 19,647 1.90 5,609 10 10 10 10 10 10 10	17	2,472 37,300 15,089 7,593 20.36% 4,352 11.67% 19,647 1.90 5,609 2,641 1,454 (間向 世所公医全体と比較すると 用架倒区(年少人口率が高く、高齢化率に称い、可宜してとしると、上用架の丁目は特に高齢化率が高く、周端11月が低くなっている。 出張相談会などを通して地区鉄超の把握に努めるとともに、見守りネットワークづくりに散り組んでいる。 16分	2.472 37,300 15,089 7,593 20,36% 4,352 11,67% 19,647 1,90 5,609 2,641 1,454 1,514 (目前 国际文学体上は取する)、開発態度は年少人計画が落く、高齢化割は低いないる。 1,454 1,454 1,514 (目前 国际文学体上は取する)、開発態度は年少人計画が落く、高齢化割は低いないる。 1,454 1,454 1,514 (目前 日本文学体上は取する)、用理態度は年少人計画が落く、開発しました。	(中国) (中国)	田田 田田 田田 田田 田田 田田 田田 田	10 15,089 7,593 20,36% 4,352 11,67% 19,647 1,90 5,609 2,641 1,454 1,514 28,55% 20,84% 20,70% 2,67%	2.472 37,300 15,089 7,593 20,36% 4,352 11,67% 19,647 1.90 5,609 2,641 1,454 1,514 28,55% 20,84% 1,407 18,53% 1,300 1,5089 7,593 20,36% 4,352 11,67% 19,647 1,90 5,609 2,641 1,454 1,514 28,55% 20,84% 1,407 18,53% 1,407 18,53% 1,407 1,514 1,51	(株) (水) (x) (x	おおい おお	「中央

	児童館	上用賀児童館、玉川台児童館									
	その他、児童施設										
	おでかけひろば	なし									
	保育施設	区立保育園:上用賀保育園、ふじみ保育園、用賀保育園、用賀保育園分園 私立保育園:いいほいくえん用賀分園、上用賀青い空保育園、上用賀青い空保育園分園森の家、さくらの木保育園、馬事公苑ひかり保育園、用賀なのはな保育園、用賀みこころ保育園、用賀ルンビニ保育園 認証保育所:ナーサリーさくらキッズ、用賀プチ・クレイシュ									
	幼稚園										
	新BOP	京西小新BOP、桜町小新BOP、用賀小新BOP									
ども	地区内に所在する小学校等または関係 のある小学校等	区立小学校:京西小学校、桜町小学校、用賀小学校、瀬田小学校(地区内に一部学区域)、清泉インターナショナル学園									
• 教 育	地区内に所在する中学校等または関係 のある中学校等	区立中学校:用賀中学校、瀬田中学校(地区内に一部学区域) 私立中学校:三田国際科学学園中学校 清泉インターナショナル学園									
	地区内に所在する高校・大学等または	都立高校: 桜町高校 私立高校: 三田国際科学学園高校、駒澤大学高校 私立大学: 東京農業大学(「食と農」の博物館) 清泉インターナショナル学園									
	子どもに関するその他の事項										
	子ども食堂など【社協、児童館】 おむすび子ども食堂(第1・3火曜日開催)、マザーズキッチン チルドレンズ・カフェ(第1・3月、第1・3火曜日開催)、 馬事公苑リナト子どもレストラン(最終週の月曜開催)、SOMPO流子ども食堂(第4土曜日開催)、いいほいくえん食堂(第4土曜日開催)、 上用賀子ども食堂そら豆(第1火、第3月曜開催) 学び舎トーカ用賀中町キャンパス(フリースクール)										
1	その他の支援機関など(例:就労支援など) ①地区内資源:日本体育柔整専門学校(筋力アップ教室や運動教室開催など介護予防支援)、ひまわり荘(障害者休養施設)、障害者就労支援センターゆに(発達)、シルバー人 ②地区外資源:リンク(世田谷区ひきこもり相談窓口)、玉川ボランティアビューロー(傾聴ボランティア導入支援やアルコール依存当事者の後方支援〔当事者の会参加など〕) (免許返納関連支援、虐待事案など困難ケースを連携して支援)、認知症在宅生活サポートセンター(認知症当事者や家族への支援など)、ジョージ・アンド・ショーン株式会社 ポイントラリー〔モニター事業〕)、世田谷区スポーツ振興財団(介護予防教室やボッチャ教室主催など)、東京都都民安全推進本部(交通安全講習講座主催、免許返納相談支援 フトバンク株式会社(世田谷区から受託受けスマホ講座無料開催など)、成年後見センター(成年後見人支援)、ぷらっとホーム世田谷(生活困窮者への支援など)、グリーフサ がや(グリーフケア支援)										
ハ	図書舘	玉川台図書館									
世	地区会館、区民集会所など	用賀地区会館、用賀区民集会所、玉川台区民センター、上用賀アートホール									
公共施設	その他	玉川警察馬事公苑前駐在所、玉川消防署用賀出張所 まちづくりセンター、用賀出張所、エコプラザ用賀、タンザニア大使館									

主な公園・緑道・広場

上用賀公園、用賀くすのき公園、用賀プロムナード(いらか道)、けやき広場、用賀高架下広場

土地利用、地理的特徴(住宅の特徴を含む)

上用賀1~6丁目、用賀1~4丁目、玉川台1~2丁目からなり、面積は2.472㎞と区内で9番目に大きい地区である。

地区の大半は住宅地で、道路は碁盤の目のように整備されている。

馬事公苑やけやき広場、隣接した地区には砧公園や世田谷美術館があり、良好な住環境であるといえる。

一部暗渠となっているが、多摩川水系の一級河川谷沢川が地区を流れている。豪雨対策として、谷沢川分水路の整備が進められている。

|上用賀公園(上用賀4-32-32) の拡張事業では、スポーツ・防災拠点としての機能、既存樹林地の保全と地域の雨水流出抑制などグリーンインフラの視点を |併せ持つ公園としての整備を進めている。

交通の便に関する事項(鉄道・道路)

い 北を世田谷通り、西を環八通り(環状八号線)、南を玉川通り(国道246号線)が伸びている。

・地区の中央に東急田園都市線用賀駅があり、駅を中心にして大山街道の南北に用賀商店街が広がっている。

環 地区を縦に伸びる西用賀通りには「美術館」、「関東中央病院」行き、用賀中町通りには「祖師ヶ谷大蔵」、「成城学園前」、「渋谷」行きのバスが運航してい 境 ス

上用賀6丁目と用賀1丁目(一部)にゾーン30が導入されている。

防 "

産業に関する事項(買物・商店街などを含む)

管内の中心南側に位置する用賀駅周辺は、古くは大山街道、また東急玉川線の沿線としてにぎわっており、現在も商店街やスーパーマーケットのほか民間の再開発により「世田谷ビジネススクエア(GMOインターネットTOWER)」がランドマークとなっており、商業施設が集約されたビジネス街の様相を呈している。 用賀駅に隣接する用賀くすのき公園では、用賀商店街振興組合等による夏まつりなどのイベントも開催され、地区のコミュニティ醸成に貢献している。 用賀くすのき公園から世田谷美術館に向かう「いらか道(用賀プロムナード)」も、用賀地区の貴重な文化資源の一つである。 地区内には、公衆浴場が2軒(栄湯、藤の湯)ある。

防災 → 各地区の地区防災計画を参照

地区ビジョン

みどりの多い、支えあい・助け合いのある心豊かで安全なまちをめざして

課題、取組みの方向性

地 1.公園、緑地や公共施設、また、いらか道といった交流に活かせる場所、玉川台区民センター運営協議会やYCCのような地域交流・地域活動団体、元気高齢者や 区 特定の分野に長けた人材は存在するものの、子育て世帯への支援や高齢福祉といった多様化するニーズに対し、十分に結びつき活用されていない。 課 →困りごとを聴き取る工夫をし、機会を増やすことで、多様化するニーズを把握する。また、聴き取った困りごとと、既存の場所や元気高齢者といった地区内の社 題 会資源をマッチングさせる制度作りを行う。第一段階として、マッチング制度の構築に向けた意見交換・情報共有の場づくりに取り組む。

決 2. 地区活動への参加者が固定化しており、新規参加者が気軽に参加できる居場所(空間・参加者の役割)が不足している。 の ⇒既存の連携事業の中で、自由に参加できる多世代交流のイベントを行うことで、立場や世代を超えた交流を促進する。

3. 四者の役割・サービスについての発信が不十分である。

¹ →地区の広報誌「ささえあい通信」の配布により連携事業の紹介やイベントのPRに力を入れるほか、デジタルサイネージ等DXの取組みを活用し、「福祉の相談 窓口」や地域包括ケアの用賀地区における展開について、周知を図る。

参加と協働の地域づくりの取組み内容(参加と協働を基盤とした地区課題への取組み)

- ① 地区での暮らしに関する困りごと等の相談 出張相談会:アパート等で住民の困りごとを聴き取り、担当機関につなぐ取組み。
- ② 誰もが通うことのできる居場所づくり ちょこグリLABO:植栽を通して、地域住民の活動機会を作り、交流を促す取組み。
- ③ ដいが通うことのできる居場所づくり スペース2020:独居高齢者や認知症の方、障害のある方等どなたでも参加のできる居場所をつくり、地域参加を目指す取組み。
- ④ 介護予防などの健康づくり 健康貯金スタンプラリー:地区内施設を巡りスタンプを押すことで、健康づくりや外出促進を図る取組み。
- ⑤ 地区資源の活用、地区課題の洗い出し 四者連携会議による地区課題への取組み:地区課題及び地区資源の洗い出しや、地区課題解決に向けた新規連携事業の実施を検討している。
- ⑥ 地区資源の活用、地区課題の洗い出し 地域ケア会議:関係機関と具体的な困難課題の検討を行い、協働して地区課題解決に取り組んでいる。
- ⑦ 地区資源の活用、地区課題の洗い出し 用賀地区子ども子育てネットワーク検討会:関係機関及び支援団体と協働し、子育てや子ども関係の情報共有、課題を検討している。子育てファミリーのリフレッシュDayの開催(年2回)
- ⑧ 「福祉の相談窓口」の周知活動 「ささえあい通信」の発行:年3回広報誌を発行し、連携事業の紹介やイベントのPRを行っている。